



避難経路図更新 6月には避難経路図の更新をしました。

経路図のチェックが終わると次に経路図の張り替え作業を行います。避難している時に見やすい位置をチェックしたポイントに沿って新しい経路図を張り替えていきます。学校の改修工事で通れなくなっている所もあるので、この作業は毎年更新することが大切です。この活動では先生や生徒に限らず、学校にいる誰もが素早く安全に避難できるよう工夫して行います。

経路図のチェックをしてみて、経路図の場所を把握できていないことに気がきました。確認中にこんなところにあるのか、と感じたぐらいです。しかし、実際に災害が起きたときに経路図を見たことがないと避難に時間がかかってしまう可能性があります。皆さんも経路図を見かけたときには一度足を止めて、経路図の確認をしていただけるとうれしいです。

県防災センター見学

じりじりと太陽が照りつける中、徳島県立防災センターに行きました。

今回は煙体験、地震体験、風体験にチャレンジしました。防災ガイドンや様々な体験を通して日頃の生活を見直すきっかけとなりました。

また、講座では協力して簡易トイレとベッドを段ボールで作りました。

思っていたよりも頑丈で成人男性が乗っても安定していました。この経験を通して防災についての知識を深めることができました。



炊き出し訓練

昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の方々との交流や生徒が調理することはできませんでしたが、改めて防災について考える機会となりました。非常食は日常的に食べているものと変わらず、種類も豊富なことから、慣れない避難生活の中で、おいしい食事ができることは心の支えになると思います。東日本大震災から約11年が経過し、徐々に震災の惨禍の記憶が薄れてしまっている今だからこそ防災について興味を持ち、私たちにできる備えをしましょう！



城ノ内避難所運営ゲーム

後期・高校生と前期生それぞれに分かれて避難所運営ゲームを行いました。一人ひとりの情報が書かれたカードをもとにして、避難者の対応をします。学年の壁を越え、みんなが意見を出すことでスムーズに進めることができました。避難所運営ゲームを通して、避難所でそれぞれの状況に合わせた対応を冷静に判断するのは難しいと感じ、改めて対策が必要なことを実感しました。備品の確認など、自分たちに出来ることはたくさんあると思いました。その後、ゲームで用いる地名を城ノ内の近くの地名に変えて、城ノ内版の避難所運営ゲームを作成しました。1年生は授業の中で、各クラスでそのカードを使って避難所運営ゲームを行いました。それぞれの事情や言い分があり、それに配慮することが難しかったです。



外部講師による防災研修 今年の11月～1月に外部講師に来ていただきました。

第一回は災害時に起こりそうなことについて考えました。先生方の災害時の役割分担や学校の地震対策について共有した後、地震が起こった後の様子を予想しながら対応について話し合いました。

第二回は地震発生後の初動対応演習をしました。これは、第一回で確認した地震発生直後に起こりうることへの対応を制限時間内に考えるという演習でした。すべての生徒が揃わない放課後の点呼や、怪我人、体調不良者の対応など様々なことについて深く考えさせられました。演習後のアンケートでは、演習は「楽しかった」が、災害の対応力は「不十分」と感じた生徒が多く、演習後すべての生徒が「学校防災に関わりたい」「知識をつけたい」と回答していました。

第三回は今後の防災クラブでの活動について話し合いました。そして、①体調不良者の対応、②防災クラブで検討した課題についての情報の共有、③校内での避難体験の3つを来年度の活動内で検討することが決まりました。

今回の演習で、今まで考えたことがなかったことを聞かれ、たくさんの気づきを得ることができました。この気づきを今後の防災活動にしっかり活かしていきたいと思います。



防災クラブより 防災クラブとして、一緒に活動しませんか？

私たちは、月1~2回程度、防災クラブとして活動しています。主な活動として学校内の防災の見直し、外部講師の方を招いての講演、避難所運営ゲームの実施、防災センターへの研修などを行っています。本年度はラジオの収録にも参加しました。防災に興味のある方、防災の資格をとりたい方、持っている方はぜひご参加ください!!